1　国語

| 学校番号 | ３２０ |
|---|---|

# 令和３年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 古典B | 単位数 | 2 | 年次 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新　高等学校　古典B（明治書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 「徒然草　ベストセレクション　用言の学習」（尚文出版）<br>「体系古典文法　八訂版」（数研出版）<br>「新訂　国語図説」（京都書房） | | | | | | |

## 1 担当者からのメッセージ

国語総合で培った基礎を確認し定着させながら自分で古典を読むことができるように少しずつ勉強していきましょう。ゆっくり進めていくので、あきらめずに頑張りましょう。細かい文法事項も大切ですがもっと大事なことは大意を把握することです。古文・漢文に親しみ、今も昔も変わらない人間の心情を理解していきましょう。

## 2 学習の到達目標

1 「国語総合」の古典の学習に続き、様々なジャンルの教材を取り上げて幅広く学習することで、古典の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
2 古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。
3 優れた表現に親しみ、特に日本と中国の文化の関係を考える。
4 古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。 | | | 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | ・学習活動への参加姿勢や態度<br>・ノート,プリント,ワークシート | | | ・学習活動における発言内容や態度<br>・ノート,プリント,ワークシート<br>・定期考査 | ・学習活動における発言内容<br>・ノート，プリント，ワークシート<br>・定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 説話 | 安養の尼の小袖（古今著聞集）<br><br>児の飴食ひたること（沙石集） | ○ | | | ◎ | ○ | a 比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい説話を読み、古文に親しむ。<br>d 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。<br>e 古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。<br>・動詞の活用を確認する。<br>・終助詞について理解する。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |
| | 説話 | 大江山（十訓抄） | ○ | | | ◎ | ○ | a 比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい説話を読み、古文に親しむ。<br>・場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。<br>d 和歌を含む説話を読み、和歌や和歌説話の特質を考える。<br>e 古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。<br>・助動詞の意味を確認する。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |
| | 随筆 | **竹取物語**<br>帝の求婚<br>かぐや姫の昇天 | ○ | | | ◎ | ○ | a 文脈に沿って作品を読み味わい、古文を読む楽しさ、古典世界の広がりを理解する。<br>d 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。<br>e 敬語表現を理解し、人間関係をとらえる。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |
| | 随筆 | **徒然草**<br>世に語り伝ふること | ○ | | | ◎ | ○ | a 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。<br>・随筆の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。<br>・d 者の人間観、社会観などを読み取り、それに対して自分の意見や考えを持つ。<br>・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。<br>e 無常観について理解する。<br>・係り結びについて理解する。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |
| 2学期 | 随筆 | **方丈記**<br>ゆく河の流れ<br>養和の飢饉 | ○ | | | ◎ | ○ | a 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。<br>・音読を通して文章のリズム感を味わい、表現上の技巧を確かめる。<br>d 作者の人生観、社会観を形成した社会的状況を具体的な描写からとらえる。<br>e 無常観について理解する。<br>・対句や比喩表現を理解する。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1<br>故事・逸話 | 矛盾（韓非子）<br>画竜点睛（歴代名画記）<br>蛍雪之功（蒙求） | ○ | | | ◎ | ○ | a 比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい故事・逸話を読み、漢文に親しむ。<br>d 本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。<br>・重要な句形について理解する。<br>・本文に表れた古代中国人のものの見方、感じ方、考え方を読み味わう。<br>e 故事成語の由来と意味を知り、正しい使い方を身に付け、言語感覚を豊かにする。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |
| | 2<br>史話・史伝 | **十八史略**<br>太公望 | ○ | | | ◎ | ○ | a 比較的平易な中国の史話を読み、歴史書の面白さを味わい、漢文に親しむ。<br>d 文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。<br>e 重要な句形について理解する。<br>・登場人物のものの見方、感じ方、考え方、その時代の風潮や背景について理解する。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |
| 3<br>学期 | 軍事物語 | **平家物語**<br>忠度の都落ち<br>先帝身投げ | ○ | | | ◎ | ○ | あ 9 平家物語の概要を理解する。<br>・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。<br>d 登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>・音読により、軍記物語に特徴的な音便表現やリズム感を味わう。<br>e 敬語の本動詞と補助動詞の用法を理解する。 | 授業の取り組み姿勢<br>テキストの音読<br>応答と発問<br>意見発表の意欲と的確さ<br>予習・復習と課題の提出<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。